

第41回 西日本学生選手権トラック自転車競技大会 大会要項 (案)

ver.20230304

主催	日本学生自転車競技連盟 西日本学生自転車競技連盟
共催	公益財団法人日本自転車競技連盟
運営協力	大阪府自転車競技連盟 京都府自転車競技連盟 株式会社JPF
期日	2023年5月7日 (日) 開門 5/7 7: 00 受付 8: 00~8: 30 練習時間 8: 00~8: 45 競技開始 5/7 9: 00~
会場	京都府向日市 京都市向日町競輪場 (400m) 京都府向日市寺戸町西ノ段5番地
大会主旨	本大会は、本年度の日本学生自転車競技連盟 (以下、「本連盟」という) に登記した西日本の学生選手による、種目別優勝者を定める大会とする。
競技種目	男子: スプリント, 1kmTT, 4kmIP, ポイントレース, スクラッチ/10 km, ケイリン, 4kmTP, TSP 女子: スプリント, 500mTT, 3kmIP, スクラッチ/6 km, TSP (3名)
参加資格	1. 男子: 本年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟 (以下、「JCF」という) 登録競技者のうち本連盟加盟校の登録選手であって、その加盟校の所在地が愛知県・岐阜県・富山県以西である者。本年度本連盟大会参加基準 (以下「参加基準」という) を満たしている者。 2. 女子: 本年度に有効な、公益財団法人日本自転車競技連盟 (以下、「JCF」という) 登録競技者のうち本連盟加盟校の登録選手であって、その加盟校の所在地が愛知県・岐阜県・富山県以西である者。 3. 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナウイルス罹患を疑われる場合には、それが故意であるかにかかわらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。 4. また、試合に参加するにあたって本大会参加選手並びにチームスタッフについては、前項の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿った感染防止対策として本連盟HP上の以下アドレスに掲載してある「 <u>新型コロナウイルス感染防止に関する通知</u> 」を順守、実行することを参加条件とする。順守事項が守られていない場合には本大会への参加を認めない。 <u>「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」</u> https://jicf.info/covid-19-pandemic-events-protocols/ 尚、本通知の他に、大会ごとに必要な事項を取りまとめた感染防止対策に関するコミュニケを別途発表する場合もあるので、注意すること。
参加種目	1. 男子: 個人種目1種目、団体種目 (4kmTP, TSP) 1種目にエントリーできる。4kmTP及びTSPは、1校につきそれぞれ1チーム以内とし、4kmTPは6名、TSPは5名までエントリーできる。 2. 女子: 個人種目2種目以内。但し、スクラッチはこの数に含まない。TSPは、1校につき1チーム以内とし、5名までエントリーできる。
参加申込	1. 参加を希望する学校は、日本学生自転車競技連盟 HP から所定のファイルをダウンロードし、参加 申込書を入力後、事務局メールアドレス(wjicf2011@gmail.com)にエクセル形式で添付し、電子メールにて事務局に送付すること。参加申込書と領収書の写しを添付して、事務局に郵送 すること。 送付先 〒601-8205 京都市南区久世殿城町 465-1-702 西日本学生自転車競技連盟 理事 石井 章 宛 Tel 090-8147-3321 ① 参加料の送金 ②電子メールでのファイル送付 ③参加申込書と領収書の写しの事務局 への郵送の3つを完了して正式エントリーとなる。 2. 参加料は男女とも本連盟加盟校登録選手は個人種目 1名6,000円、団体種目 1 チーム1種目8,000円。 3. 申込期限および参加料納入期限は、2023 年 4 月13日(木)必着とする。 参加料の送金は所定の郵便口座に送金すること。 振込先: ゆうちょ銀行 店名 418 店番 418 口座番号 2401541 加入者名: 西日本学生自転車競技連盟 (西日本学連と省略しないこと) 4. 期限を過ぎたもの、及び本要項指定方法以外の申し込みは受け付けない。 5. 入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。 正当な理由なき欠場者に参加料と同額のペナルティーを課す。 6. 6名以上選手参加の大学は大会役員補助員 1名(6名につき1名)を供出すること。また、その氏名をエントリー用紙に記載すること。大会役員補助員の氏名の記載がない場合はエントリー を認めない場合がある。
会場入場	1. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手1名につきスタッフ1名を上限として会場への入場を許可する。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれる。また、チームスタッフの選手以外の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入がない場合には、競技場内への入場を許可しない。また、チームスタッフのみが、インフィールド内への立ち入りを許可されるが、その人数についてはJCF規則の他、コミュニケにて人数を制限する。 2. エントリー用紙に記入した来場予定のチームスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催2日前の5月5日 (木) 22時までには当連盟事務局宛てに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。尚、変更後のスタッフについても前述の参加資格4.の「 <u>新型コロナウイルス感染防止に関する通知</u> 」を順守することを変更の条件とする。 3. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催2日前の5月5日 (木) 22時までには取材申請書をメールで事務局宛ご提出ください。また、選手の参加資格3.

にあますように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出することを原則とします。なお、メディア関係者についても前述の参加資格4の「新型コロナウイルス感染防止に関する通知」を順守することを来場の条件とします。順守事項が守られていない場合には競技場内への入場をお断り申し上げます。選手及び競技役員の方の安全のためご理解ください。

- 選手受付 1. ライセンスコントロールは事前にデータ上でを行い、大会受付の現場では行わない。別途コミュニケーション発表の受付時間内に大会受付にてゼッケンを受け取る。この時点で、招集の代わりとするので欠場する場合は該当する選手の氏名を大会受付まで申し出ること。
2. 参加者は、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションをセルフチェックで行うこと。但し、選手はマスクを着用し、決められた間隔をあけて順番を待つこと。また、自転車器材については基本的に選手本人が取り扱うものとし、審判は自転車器材等には触らないことを基本とする。詳細別途発表するコミュニケーションにて確認すること。レース終了後に上位者およびランダムサンプリングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。
3. 正当な理由なく前項の規定を履行できない選手は、参加することは出来ない。
- 賞典・式典 1. 開会式・閉会式については、別途発表するコミュニケーションを参照ください。
2. 男子の第3位以上の選手には賞状と賞品を授与する。第4～8位には賞状を授与する。女子の第1位の選手には賞状と賞品を授与する。第2～3位には賞状を授与する。
3. 表彰式は第3位以上のみ競技場内にて行うが、時間・場所・式進行上の注意等については別途発表のコミュニケーションにて詳細を確認すること。
- 事故措置 1. 競技中発生した事故等につき、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担において対応の事。
2. 各選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。
- 競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

ドーピング検査

1. 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会となる可能性がある。本大会参加者は大会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
2. また、大会出場時に18歳未満の競技者は、上記のドーピング検査の実施についての親権者同意書の日本アンチ・ドーピング機構(JADA)への提出が必要である。18歳未満の競技者並びにその親権者は、JADAの指定する様式をダウンロードして、必要事項を記入・署名のうえ、大会出場時に持参しなくてはならない<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
3. 本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
4. 前記に鑑み、すべての参加競技者は、棄権、失格となった場合であってもドーピング検査対象となる可能性があることから、参加競技者は自己の責任において、自身がドーピング検査対象として指名されているか否かを確認すること。
5. 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) にて確認すること。

事務局

〒601-8205 京都市南区久世殿城町 465-1-702
西日本本学生自転車競技連盟 理事 石井 章 宛
wjicf2011@gmail.com Tel 090-8147-3321
(担当者は会社員であるので、緊急時以外はメールでの連絡をお願いします。)

大会特別規則

第1条 (スプリント) 男子は予選タイム上位8名が1/4決勝に、女子は上位4名が1/2決勝に進出する。
1/4決勝は1回戦制で行う。

第2条 (4kmIP, 3kmIP) 決勝のみを行う。追抜きがあった場合でも両選手とも完走タイムを計時する。

第3条 (ポイントレース) 予選10km、決勝24kmにて行う。

第4条 (スクラッチ) 男子の予選を6km、決勝を10km、女子は決勝のみ6kmで行う。

第5条 (ケイリン)

1. ケイリンについては、エントリーの人数を最大36名とする。
2. エントリーした選手が36名を超える場合は、エントリー全員の個票での申告タイムを比較し、まず、A基準保持者の上位から36名を選出する。最初に200mFTTのA基準の上位から選出し、足りない場合は1kmTTのA基準の上位から選出、さらに足りない場合は4kmIPのA基準の上位から選出する。それでも36名に満たない場合、今度はB基準の200mFTT、1kmTT、4kmIPの順に上位から選出する。選考結果は学連HPに発表する。尚、個票のタイムが100分の1秒の場合は、小数点以下第3桁に9を加えて比較する。(例: 10.00秒→10.009秒とみなす)
3. 選考に漏れた選手については他種目へのエントリー変更を認めるが、他種目での出場を辞退する場合は参加料の返還はしない。

第6条 (4kmTP) 1. 決勝のみを行う。追抜きがあった場合でも両チーム完走タイムを計時する。

2. 当該競技番組開始1時間前迄に出走者リストをセクレタリに提出のこと。

第7条 (TSP)

1. 決勝のみを行う。当該競技番組開始1時間前迄に出走者リストをセクレタリに提出のこと。

注意: 大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイトを随時チェックすること。